

目標達成計画

作成日: 平成23年4月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は6月に開催したが、それ以降は規定にそった開催ができなかった。	運営推進会議規定にそった開催をし、地域の理解や協力を得られるようにすすめて行く。	友の会との連携を重視し、協同組織委員会において地元の棧敷地区や長畝地区の班会に参加する。運営推進会議は無理なく進められるよう開催方法や会議内容を工夫していく。	6ヶ月
2	35	災害対策はハード面の整備に甘んじて積極的に取り組んでは来なかった。とりわけ近隣住民への働きかけが不十分だった。	いつ起こるかもしれない大震災への備えは日ごろから訓練していかなばならない。職員全員が非常事態に対応できるように訓練を実施していく。近隣住民との連携も大切にしていきたい。	日常の業務の中でのこまめな避難訓練を意識的に取り組んでいく。地域の班会でも協力を呼びかけていく。	12ヶ月
3	6	施設は開放的に作られており、利用者を拘束しない環境が整っているが、今以上に全職員が利用者の権利擁護を尊重するケアを実践していく。	利用者の権利擁護や禁止対象となる具体的な行為などについて全職員が学ぶことにより意識の向上を図る。また施設内にも掲示する。	研修と学習報告会を主に、全職員の意識向上に努めていく。またマニュアルの読み合わせなどできることから取り組んでいく。	6ヶ月
4	33	重度化や終末期に向けての方針は今現在はないが、4年目を迎え考えていかなばならない時期に来ている。	職員と主治医とのコミュニケーションを強めていく。関連する医療連携を強化し、母体である福祉会とも相談して施設の指針を作っていく。	職員およびご家族と主治医との懇談や、病院及び福祉会との医療連携を強めていけるように努める。学習会への積極的な参加をしていく。	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。